Panasonic®

演出空間用照明器具
LEDカラースポットライト

取扱説明書
保管用

品番　NNQ30141（1000形・3000K・フレネルFMスポット）
NNQ30142（1000形・3000K・フレネルSHスポット）

お客様へ、この説明書は必ず保管してください。

安全に関するご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

⚠ **警告**	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い場合。
⚠ **注意**	取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

⚠ 警告

●演出空間用の器具です。演出空間の用途以外には、使用しない。
一般用照明器具として使用する製品ではありません。
●振動の激しい場所、常時振動のある場所への取り付け設置は行わない。
器具本体の破損などで落下し物的損害・けがの原因になります。

●器具の本体質量に見合った取付(金具・設備)を使用する。
取付(金具・設備)の選定を間違うと落下し、物的損害・けがの原因となります。
●フィルタホルダ枠の押さえ金具を確実にとめる。押さえ金具を確実に止めないとフィルタホルダが落下し、物的損害・けがの原因となります。
●フィルタホルダは、適合品を使用する。フィルタホルダの破損・変形したものを使用すると落下し、物的損害・けがの原因となります。
●異常時には、すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから原因究明する。
容易に原因の究明が出来ない場合は、弊社エンジニアリング会社に修理依頼をしてください。
●吊り下げ使用する場合は、必ず落下防止ワイヤによる落下防止を指定の取付方法で確実に行う。
誤った取付を行うと、部品の破損時に器具が落下し、けがの原因になります。
●アルカリ系洗剤は使用しない。強度低下による破損の原因となります。

●器具の取付・設置には、可燃物と器具周辺面(照射方向を除く)との最小距離を本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付ける。指定距離より近すぎると、火災の原因となります。
●照明器具と被照射面の距離は、本体表示及び取扱説明書に従って十分な距離をとる。
指定距離より近すぎると、被照射物の火災の原因となります。
●器具の取付・設置時は、ケーブル類を器具本体に接触しないように取付ける。接触していると火災の原因となります。
●機器の銘板及び取説に表示されている電源仕様に接続する。火災・不点灯や損傷の原因となります。
●煙が出たり，変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、火災・感電の原因となります。

●器具の使用角度に制限のある器具があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく使用する。
使用角度範囲を超えると、器具の破損、不点灯や損傷の原因となります。

●器具の点灯中及び消灯直後は、本体周辺を素手で触らない。本体周辺が高温のため、やけどの原因となります。

●器具を分解して改造しない。故障・感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

○使用環境・用途・条件について　※不備があると、感電・落下・故障・LED短寿命の原因になります。
●屋内専用器具です。屋外、直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動の大きい場所、雨が吹き込む場所、暖房機器や火気などの上や近い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。
●周囲温度は、5～35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用しないでください。
●不安定な場所や燃えやすいものの近くで使用しないでください。倒れたり、落ちたりして、火災・けがの原因となります。
●スピーカーによる振動で、器具の配光調整可動部がズレることがあります。器具に振動が加わる環境での使用は避けてください。
○取付・設置について　※不備があると、感電・落下・故障・LED短寿命の原因となります。
●器具の取付・設置前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
●据付施工は、演出用の機材等を扱える熟練者(専門家)が行ってください。未熟練者だけでの対応は、間違いの原因になることがあります。
●器具の取付・設置・移動・撤収は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
●器具の取付・設置に方向性のある器具があります。本体表示及び取扱説明書に従って正しく取付けてください。指定以外の取付けを行うと、器具本体の破損や火災・けがの原因となることがあります。
●器具の取付・設置には、器具本体の落下防止ワイヤを取扱説明書に従って正しく取付けてください。確実に取付けないと取付金具等の破損により器具が落下し、物的損害・けがの原因になります。
●器具外かくの放熱穴を塞がないでください。器具内部品の過熱による故障の原因となります。

⚠ 注意

〇使用前の準備について

●器具の使用前に必ず取扱説明書または注意書をよくお読みください。
また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用ください。
●器具の使用前の準備は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
●電源接続は、取扱説明書に従って確実に行ってください。接続が不完全な場合は、接触不良により火災の原因となります。

〇使用方法について

●器具を取扱う場合は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
●器具の安全シールド(ガラス、フィルタ、ガラスクロス、金網等)を取り外して使用しないでください。
●この器具は精密機器です。衝撃の加わる操作はしないでください。器具の損傷､不点灯などの原因になります。
●ハロゲン器具等と同時に使用する場合は本器具から、十分離して使用してください。熱により不点灯や損傷の原因となります。
●点灯しているLEDを近距離もしくは長時間直視しないでください。目を傷めたり、悪影響を及ぼす恐れがあります。
●地震などの天災後、再使用前に「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家による点検を行ってください。
未熟練者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
●電源ケーブルのプラグ抜き差しによる短時間OFFの再点灯を行った場合、LEDがフラッシュすることがあります。
器具の故障には至りませんが、点滅を繰り返す演出は、調光卓からのDMX信号にて行ってください。
●バンドアを取付使用する場合、バンドアを完全に閉じた状態で、長時間LEDを点灯させないでください。
LEDの短寿命などの原因になります。
●ビデオカメラのモニター表示で、稀にフリッカが生じることがあります。気になる場合は、
表示の明るさやシャッタースピード等を調整してください。
●長いフェードタイムでのフェードイン（消灯→点灯）では、器具間の明かりの立ち上がりのズレが、
気になる可能性があります。予めご了承ください。
●LEDスポットライトと同時に使用される場合、それらの器具間の明かりの立ち上がりにズレが生じます。
予めご了承ください。
●レンズ部に過度な力を加えたり、シュート棒(介錯棒)でレンズを叩いたりしないでください。
レンズの破損、落下、キズの原因になります。

〇保守点検について

●器具は、日常点検を実施してください。点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、
取扱説明書に基づき処置をしてください。
●器具の点検(整備)は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけでの対応は間違いの原因となるおそれがあります。
●部品交換，清掃時は、必ず電源を切ってください。電源を切らないと感電・故障・けがをすることがあります。
●電源ケーブル，接続器は日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、
取扱説明書に基づき処置をしてください。感電・火災の原因となることがあります。
●安全シールドに亀裂がないか日常点検し、点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、
取扱説明書に基づき処置をしてください。
●冷却ファン付器具は、埃などでふさがっていないか日常点検し、清掃してください。器具の故障・火災の原因となります。
●レンズの清掃は、レンズに傷をつけないように取扱説明書に従って実施してください。レンズの破損・けがの原因となります。
●器具のネジ類は、振動等で緩む場合があり取扱説明書に基づき処置をしてください。
故障、落下による物的損害・けがの原因となります。
●埃や紙吹雪が溜まったままで使用しないで、清掃してください。火災の原因となります。
●交換部品は、弊社指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。
器具の機能劣化・感電・火災の原因となります。
●LEDユニット、LED電源などの器具内部の部品の点検・交換は、専門のメンテナンス業者に依頼してください。
●照明器具には寿命があります。この取扱説明書の“保守・点検について”をご確認いただき、
計画的な点検保守により、安全にご使用ください。

〇保管時について

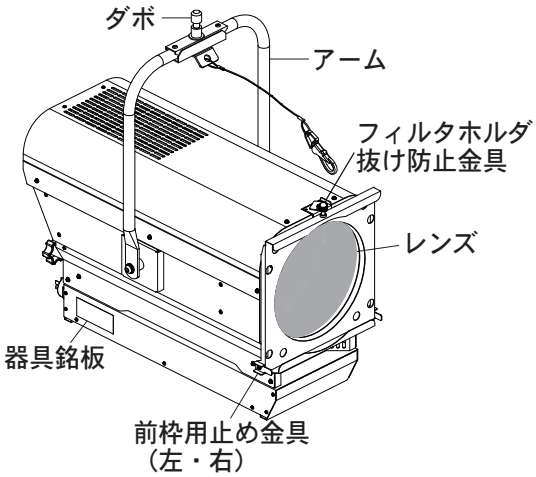
●埃の多い場所や湿度が高く、結露しやすい環境に保管しないでください。故障・絶縁不良の原因となります。
●安全シールドに損傷を与えないように保管してください。安全シールドの効力をなくす原因となります。
●再使用するときは、点検を必ず行ってから使用してください。感電・火災の原因となるおそれがあります。

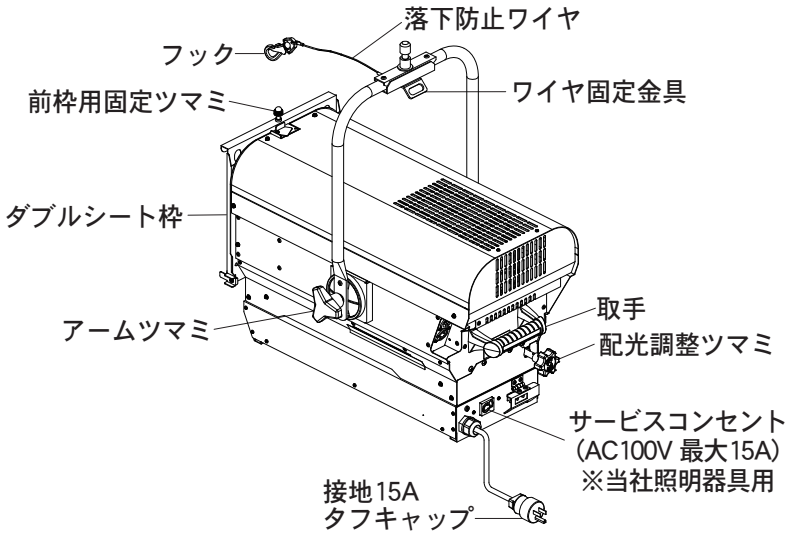
〇廃却時の注意

●廃却時は内部のヒートパイプ(LED放熱用の銅管)の一部を切り欠いてください。
切り欠かないと、焼却処理時、内圧が上がり破裂の原因となります。

各部のなまえと本体表示

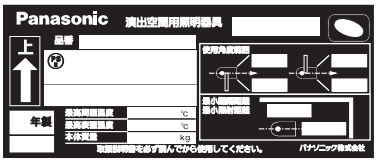
◆ 各部のなまえ　　NNQ30141の例で説明しています。





◆ 本体表示

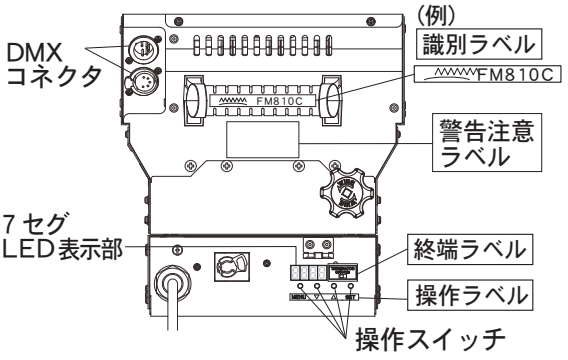
器具銘板



・最高周囲温度：通常の使用状態で連続動作してもよい周囲温度
・最小離隔距離：最高周囲温度の条件で、周辺面が60℃となる距離
・最小照射距離：最高周囲温度の条件で、照射面が60℃となる距離

警告注意ラベル

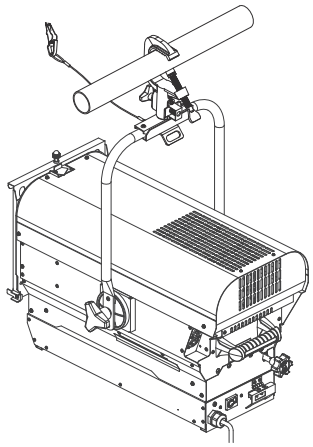
フォーカスラベル（例）



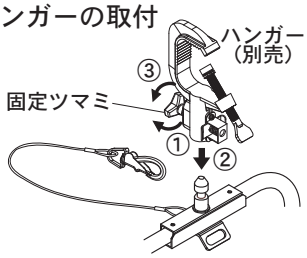
☞ 4 ページ「操作部の詳細」参照

設置・取付（別売の取付機材に関しては、9ページを参照ください）

◆ 吊パイプへの取付

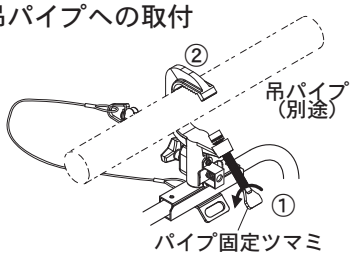


1.ハンガーの取付



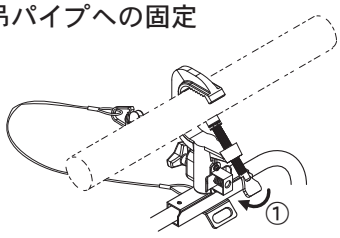
①固定ツマミを緩める
②ダボに差し込む
③固定ツマミを締める

2.吊パイプへの取付



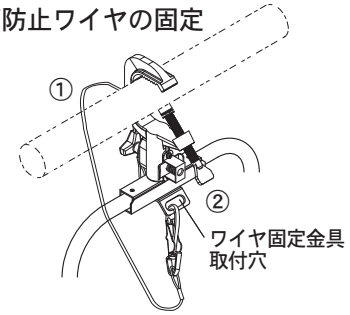
①パイプ固定ツマミを緩める
②吊パイプに引っかける

3.吊パイプへの固定



①パイプ固定ツマミを締める

4.落下防止ワイヤの固定



①ワイヤを吊パイプにまわす
②ワイヤ固定金具の取付穴にフックを引っかける

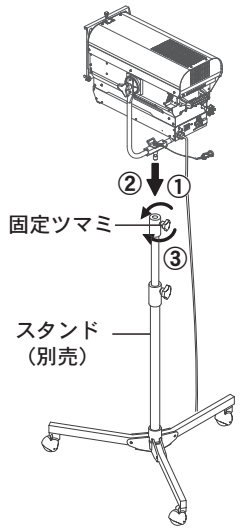
⚠ 注意

●吊り下げて使用する場合は、必ず落下防止ワイヤをパイプにまわしワイヤ固定金具の取付穴にフックを引っかけてください。
誤った取付を行うと、部品の破損時に器具が落下し、けがの原因になります。

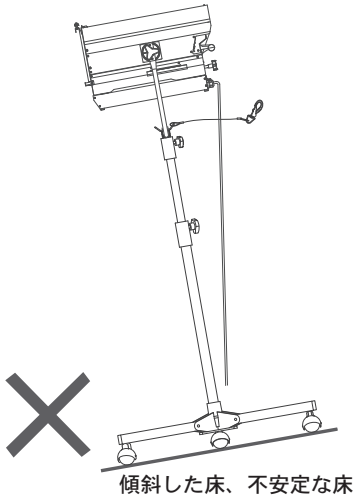
取説No. NNQ30141-T3

設置・取付（別売の取付機材に関しては、 9 ページを参照ください）

◆ スタンドへの取付



①固定ツマミを緩める。
②ダボ受に差し込む。
③固定ツマミを締める。



傾斜した床、不安定な床

⚠ 注意

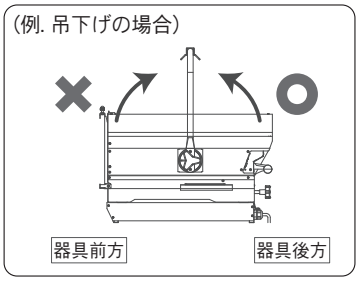
●スタンドは水平な床に
安定させて設置ください。
転倒による破損・ケガ・やけどの原因になります。

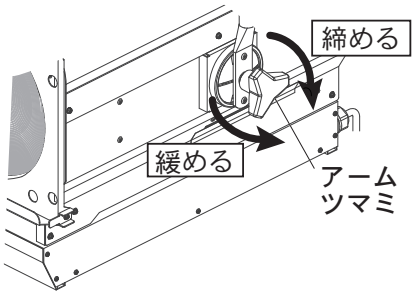
操作方法

◆ 照射方向の調整

上下方向の照射方向調整、固定はアームツマミを使ってください。

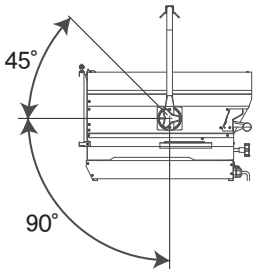
1. アームツマミを緩め灯体後部の取手を操作し、照射方向を調整してください。
   注）器具を真下(90°)に向ける場合、アームに器具前方を通すと干渉します。
   必ず器具後方をアームに通してください（右図参照）
2. 位置が決まりましたら、アームツマミを締め灯体を固定してください。
   締め付けが不十分な場合、昇降バトンの動作による振動で、
   照射方向がズレることがあります。



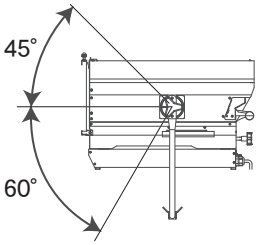


【器具の可動範囲】

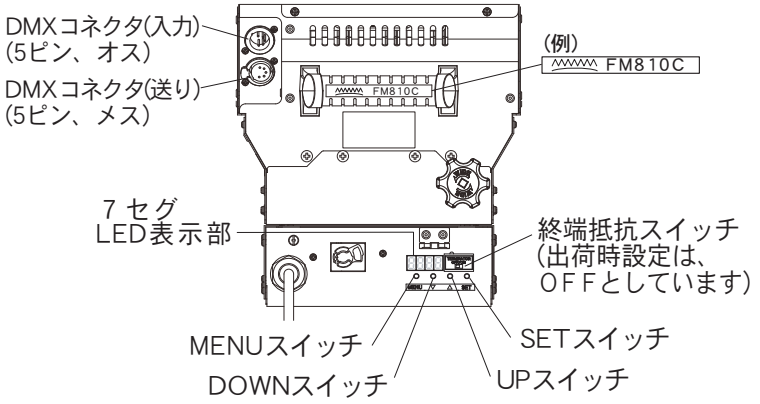
〔吊パイプ取付の場合〕

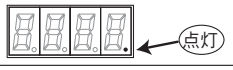


〔スタンド取付の場合〕



◆ 操作部の詳細

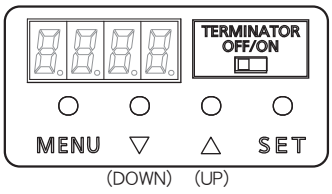


TERMINATOR	終端抵抗スイッチ DMXで接続する場合、終端の器具はスイッチをONにしてください。
MENUスイッチ DOWNスイッチ UPスイッチ SETスイッチ 7セグLED表示部	5～ 7 ページ 「操作部での各種設定」 参照。
DMX	調光卓からのDMX信号を受信すると図の通りドットが点灯します。 

調光卓からDMX信号により、調光を行う場合は、下記の手順で設定を行ってください。
①器具DMXアドレスを設定してください。 ☞ 6 ページ「DMXアドレスの設定」を参照。
②DMX信号ケーブル(別途)を使い、DMXコネクタ(入力)と調光卓を接続してください。
（DMXコネクタのピン配置） P1；IDE、P2；ID－、P3；ID+、P4；空き、P5；空き
③他の器具へDMX信号送りをする場合、DMXケーブル(別途)をDMXコネクタ(送り)に接続して、次の器具へ信号送りを行ってください。信号送りを行わない場合、終端抵抗スイッチをONに切り替えてください。

操作方法

◆メニュー構成と ７セグＬＥＤ表示内容



操作部にある７セグＬＥＤ表示部では、
DMXアドレス、調光レベル等の設定・確認ができます。
電源ＯＮ後、
・DMX信号未受信時は、器具内部に記憶されている各調光レベルとU-LEが
交互に表示されます。
・DMX信号受信時は、受信しているDMXレベルが表示されます。
器具の設定変更は、下図を参考にして、MENUスイッチ、UP-DOWNスイッチ(△・▽)、
SETスイッチ操作によってメニュー内を移動して行ってください。
MENUスイッチで切替、UP-DOWNスイッチで選択、SETスイッチで決定です。

各スイッチの機能
[MENUスイッチ]
・設定メニュー間の移動
・設定値の変更中断(長押し)
[UP-DOWNスイッチ]
・設定値の変更
[SETスイッチ]
・設定値の変更確定

【設定メニュー】
・手元調光操作(ユーザー設定レベルの設定)；
l__0(消灯) ～ l_FL（100%・フル点灯)の範囲で設定できます。
(電源ON後の点灯調光レベルは、ユーザー設定レベル(U-LE)になります。)
※調光レベル表示設定が100%表示の場合

				ユーザー設定レベル(調光レベルの種類)			
カラースポットモードの種類	Addr最大値	chモード	カラースポットモードの分類	赤 r	緑 G	青 b	オレンジ o
IRGBOモード	508	ch5l	カラーモード	r__0(0%)～r_FL(100%)	G__0(0%)～G_FL(100%)	b__0(0%)～b_FL(100%)	o__0(0%)～o_FL(100%)
RGBOモード	509	ch4		r__0(0%)～r_FL(100%)	G__0(0%)～G_FL(100%)	b__0(0%)～b_FL(100%)	o__0(0%)～o_FL(100%)
IRGBモード	509	ch4l		r__0(0%)～r_FL(100%)	G__0(0%)～G_FL(100%)	b__0(0%)～b_FL(100%)	-
RGBモード	510	ch3		r__0(0%)～r_FL(100%)	G__0(0%)～G_FL(100%)	b__0(0%)～b_FL(100%)	-
単色モード	512	3000	単色モード	-	-	-	-
CTCモード①	509	ctc1	CTCモード	-	-	-	-
CTCモード②(色温度,duvは①のモードで記憶した値)	512	ctc2		-	-	-	-

				ユーザー設定レベル(調光レベルの種類)		
カラースポットモードの種類	Addr最大値	chモード	カラースポットモードの分類	インテンシティ I	色温度	色味 (5段階)
IRGBOモード	508	ch5l	カラーモード	I__0(0%)～I_FL(100%)	-	-
RGBOモード	509	ch4		-	-	-
IRGBモード	509	ch4l		I__0(0%)～I_FL(100%)	-	-
RGBモード	510	ch3		-	-	-
単色モード	512	3000	単色モード	I__0(0%)～I_FL(100%)	-	-
CTCモード①	509	ctc1	CTCモード	I__0(0%)～I_FL(100%)	2800/2900/3000/3100/3200	-2/-1/0/+1/+2
CTCモード②(色温度,duvは①のモードで記憶した値)	512	ctc2		I__0(0%)～I_FL(100%)	2800/2900/3000/3100/3200	-2/-1/0/+1/+2

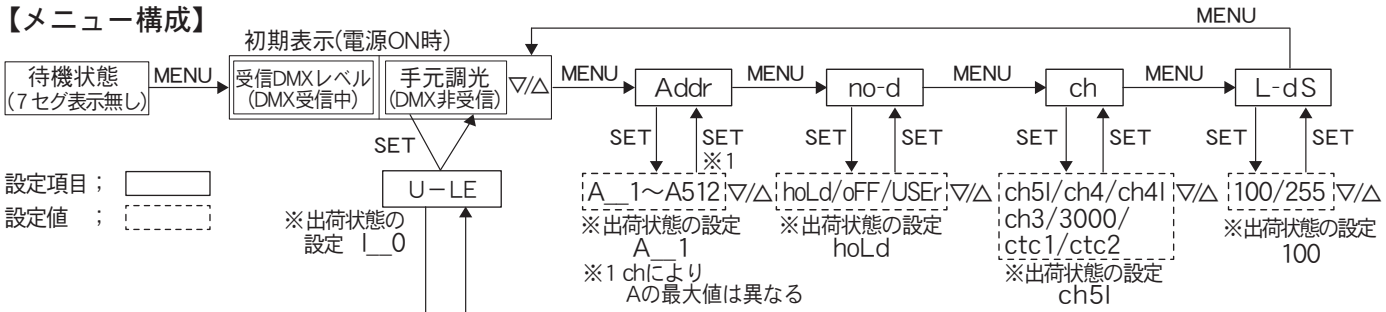
・DMXアドレスの設定 [Addr]；下記の範囲で設定ができます。
A__1～A512 の範囲で設定ができます。
・DMX遮断時の動作の設定 [no-d] ；下記の３モードから選択できます。
hoLd；直前のDMX調光レベルでの点灯を保持
oFF ；消灯
USEr；ユーザー設定レベル(U-LE)で点灯
・調光レベル表示の設定[L-dS]；
100；調光レベルが100段階での表示になります。(100%表示)
255；調光レベルが255段階での表示になります。(255表示)

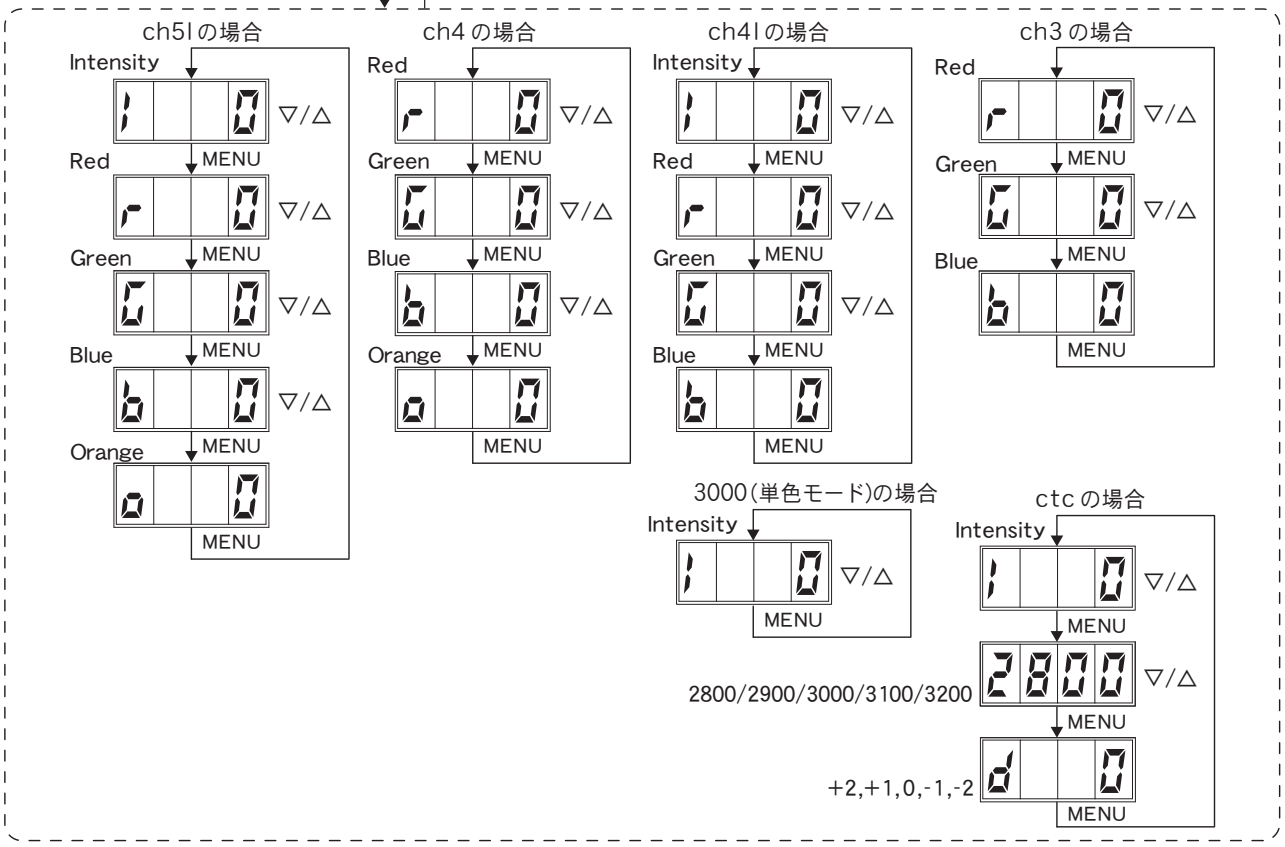
※表示した設定値を確定するには、SETスイッチを押してください。設定の変更が完了すると、Goodが表示されます。
設定変更を中断するには MENUスイッチを長押ししてください。７セグ表示が消えて待機状態になります。
設定は更新されません。

取説No. NNQ30141-T3

操作方法

【メニュー構成】

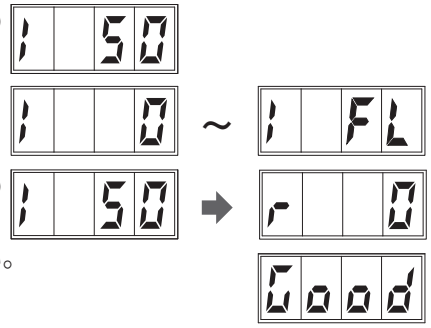




◆ 操作部での各種設定(3000Kモード)

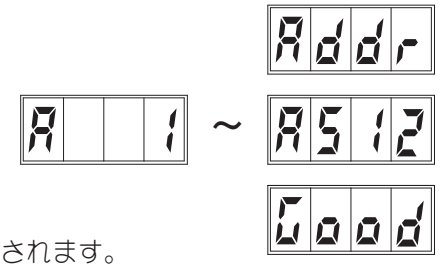
〇手元調光操作(ユーザー設定レベルの設定[U-LE])

1. 【U-LE】表示状態に移動してください。
2. SETスイッチを押し、設定状態に移動してください。
3. UP-DOWNスイッチで、各調光レベルを変更してください。
   表示は [I__0(0%：消灯)～I_FL(100%：フル点灯)]の間で変わります。
   設定変更を中止する場合は、MENUスイッチを長押ししてください。
   待機状態になります。※UP-DOWNスイッチを同時に押すと
   "I__0 → I_50 → I_FL → I__0 "と変更できます。
   (調光レベル表示設定が100%の場合) ※DMX受信時は調光卓にて操作ください。
4. MENUスイッチで、調光レベルの種類を変更してください。
   (【ch】により種類が異なります)
   各調光レベルで、上記３の操作を行い調光レベルを変更してください。☞ 5ページ の表参照
5. SETスイッチを押し、ユーザー設定レベル記憶値を更新してください。Goodが表示されます。



〇DMXアドレスの設定

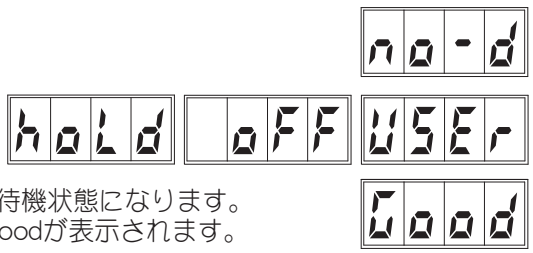
1. 【Addr】表示状態に移動してください。
2. SETスイッチを押し、設定状態に移動してください。
3. UP-DOWNスイッチで、アドレス値を変更してください。
   ※ UP-DOWNスイッチを同時に押すと
   " A__1 →A100 → A200 → A300 → A400 → A500 → A__1 "
   と変更できます。
   設定変更を中止するには、MENUスイッチを長押ししてください。
   待機状態になります。
4. SETスイッチを押し、DMXアドレスを器具に設定してください。Goodが表示されます。



操作方法

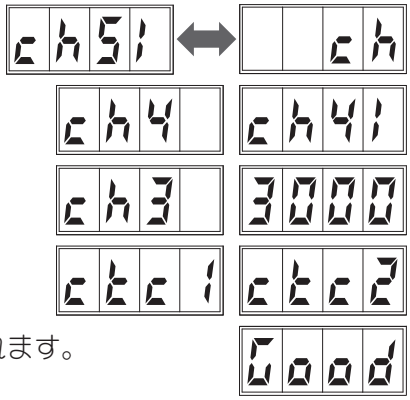
○DMX遮断時の動作の設定(hoLd；保持 / oFF；消灯 / USEr；ユーザー設定レベル[U-LE]点灯)

1.【no-d】表示状態に移動してください。
2. SETスイッチを押し、設定状態に移動してください。
3. UP-DOWNスイッチで、設定したい動作を表示してください。
   hoLd ；直前のDMX調光レベルでの点灯を保持
   oFF ；消灯
   USEr ；ユーザー設定レベル[U-LE]で点灯
   設定変更を中止する場合は、MENUスイッチを長押ししてください。待機状態になります。
4. SETスイッチを押し、DMX遮断時の動作設定を確定してください。Goodが表示されます。



○chモードの設定

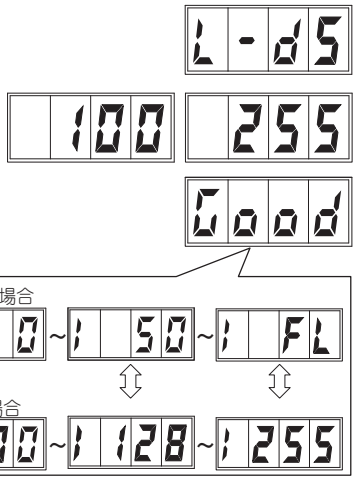
1.【ch】表示状態に移動してください。
2. SETスイッチを押し、設定状態に移動してください。
3. UP-DOWNスイッチで、設定したいchモードを表示してください。
   ch5I；先頭アドレスからインテンシティ・赤・緑・青・オレンジ
   の5chを使用して、各調光レベルを設定
   ctc1；先頭アドレスからインテンシティ・色温度・色味の3chを
   使用して、各調光レベルを設定
   設定変更を中止する場合は、MENUスイッチを長押ししてください。
   待機状態になります。
4. SETスイッチを押し、chモードの設定を確定してください。Goodが表示されます。



※ctc1又はctc2へのユーザー設定レベル記憶について
先にctc1で設定完了し記憶させた場合、【ch】変更でctc2を選択してsetを押しGoodが表示された時点で、
ctc1で設定していた各調光レベルがctc2に記憶されます。
※【ch】変更した後は、ユーザー設定レベルの内容が変わりますので、
必ず各調光レベルの数値を見直し、必要に応じて再設定をしてください。

○調光レベル表示の設定

1.【L-dS】表示状態に移動してください。
2. SETスイッチを押し、設定状態に移動してください。
3. UP-DOWNスイッチで、調光レベル表示を変更してください。
   100；調光レベルが100段階での表示になります。(100%表示)
   255；調光レベルが255段階での表示になります。(255表示)
   設定変更を中断する場合は、MENUスイッチを長押ししてください。
   待機状態になります。
4. SETスイッチを押し、調光レベル表示設定を確定してください。
   Goodが表示されます。



○現在の設定状態の確認

・ユーザー設定レベルの確認
DMX信号未受信状態での電源ON時に表示されます。
・DMXアドレスの確認
【Addr】表示状態に移動して､SETスイッチを押し表示を確認してください。
確認後、再度SETスイッチを押し、【Addr】表示状態に戻してください。
・DMX遮断時の動作の確認
【no-d】表示状態に移動して､SETスイッチを押し表示を確認してください。
確認後、再度SETスイッチを押し、【no-d】表示状態に戻してください。
・chモードの確認
【ch】表示状態に戻してください。
『調光レベル表示の確認
【L-dS】表示状態に移動して､SETスイッチを押し表示を確認してください。
確認後、再度SETスイッチを押し、【L-dS】表示状態に戻してください。』

取説No. NNQ30141-T3

操作方法

◆卓操作時のDMX対応表

モードの種類		使用CH数	Addr最大値	7セグ表示	DMX CH ［パラメータ名 / 7セグ表示名］ <推奨デフォルト値> 1	2	3	4	5	備考
カラーモード	IRGBOモード	5	508	ch5I	［インテンシティ / I］ 0～255(100%) <0>	［赤 / r］ 0～255(100%) <0>	［緑 / G］ 0～255(100%) <0>	［青 / b］ 0～255(100%) <0>	［オレンジ / o］ 0～255(100%) <0>	全4色(R,G,B,O)と、インテンシティを変更できるモード
	RGBOモード	4	509	ch4	［赤 / r］ 0～255(100%) <0>	［緑 / G］ 0～255(100%) <0>	［青 / b］ 0～255(100%) <0>	［オレンジ / o］ 0～255(100%) <0>	-	全4色(R,G,B,O)を変更できるモード
	IRGBモード	4	509	ch4I	［インテンシティ / I］ 0～255(100%) <0>	［赤 / r］ 0～255(100%) <0>	［緑 / G］ 0～255(100%) <0>	［青 / b］ 0～255(100%) <0>	-	3色(R,G,B)と、インテンシティを変更できるモード
	RGBモード	3	510	ch3	［赤 / r］ 0～255(100%) <0>	［緑 / G］ 0～255(100%) <0>	［青 / b］ 0～255(100%) <0>	-	-	3色(R,G,B)を変更できるモード
単色モード	単色モード	1	512	3000	［インテンシティ / I］ 0～255(100%) <0>	-	-	-	-	4色の光を調合した3000Kの光専用のモード
CTCモード	CTCモード①	4	509	ctc1	［インテンシティ / I］ 0～255(100%) <0>	［色温度 / -］ 0～ 39…3000K 40～ 79…2800K 80～119…2900K 120～159…3000K 160～199…3100K 200～255…3200K <0 , 140>	［色味 / d］ 0～ 39…±0 40～ 79…-2 80～119…-1 120～159…±0 160～199…+1 200～255…+2 <0 , 140>	［LOCK / -］ 0～ 39…LOCK有 40～255…LOCK解除 ※器具の手元操作時はLOCKは常時解除 <0>	-	単色3000Kをベースとしてインテンシティと色温度と色味を変更できるモード (色温度と色味は5段階) ※LOCK機能 色温度と色味を、変更したくない時に使用する機能です。 器具の手元操作時は設定できません。 ※色味 -2～+2は7セグの表示値であり、実際の性能を示す数値ではありません。
	CTCモード② (色温度、色味は①のモードで記憶した値)	1	512	ctc2	［インテンシティ / I］ 0～255(100%) <0>	-	-	-	-	CTCモード②に入ると、CTCモード①の設定値を上書きし、そのまま使用できるモードです。

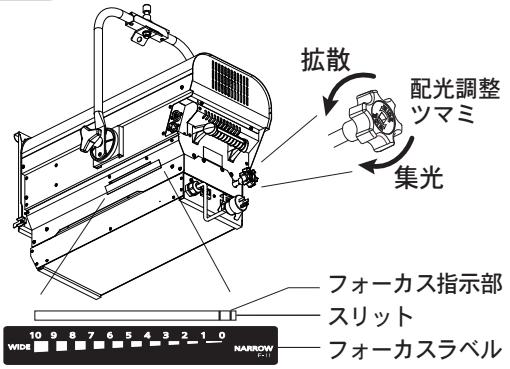
※DMX 入力時に設定されたモードや各パラメータは、
電源OFF後再びONするまでにDMXレベル等の変更がなければ、その設定は維持されます。

◆RDM機能

RDM（双方向通信）により、リモートで器具のDMXアドレスの設定や通電時間・点灯時間など
をモニタリングが可能です。※ 本機能を使用する際は、RDM対応のモニタリングシステム(別途)が必要です。

操作方法

◆配光の調整



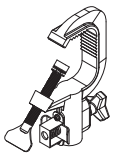
配光の調整は、灯体後部の配光調整ツマミを
回転させて行ってください。
灯体下側面に、ＬＥＤ位置を示すフォーカス指示部
を設けています。

【フォーカス指示部の説明】
スリット内を前後に移動する指示部により、
配光調整範囲内での現在位置が分かります。
（指示部は、光源の位置に連動します）

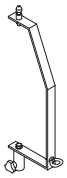
◆ 適合の取付機材（別売）

○吊パイプ取付用機材

（ハンガー）
NK31010B
NK31010W

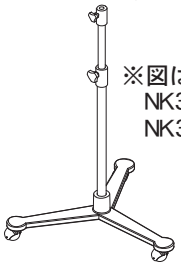


（ボーダーハンガー）
NK31004



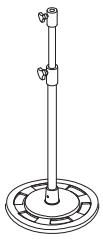
○床置き設置用機材

（三脚キャスター付スタンド）
NK32122BK、NK32122WK
（ハイスタンド）NK32123K



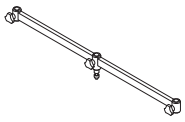
※図は
NK32122BK
NK32122WK

（丸ベーススタンド）
NK32021K



（フロアベース）
NK32020K

（3連アーム）
NK32920

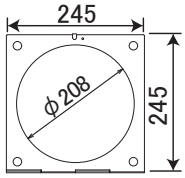


（注意）
●使用する際はバランスを確保してください。片側のみへの取付は転倒によるけがの原因となります。
●ハイスタンドと３連アームを組合せて使用しない。転倒によるけが・破損の原因となります。

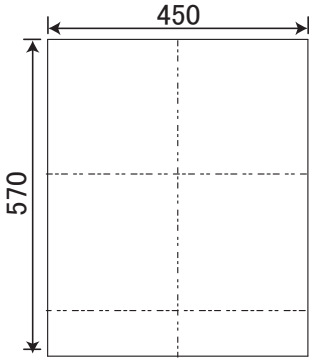
◆ カラーフィルタの装着

カラー演出をされる場合は、カラーフィルタ(別売)が必要になります。
フィルタホルダ(付属)にカラーフィルタを装着してご使用ください。

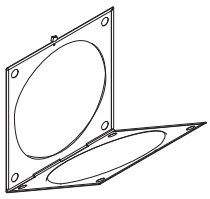
フィルタホルダ寸法



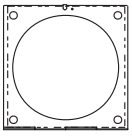
カラーフィルタ寸法



1. フィルタホルダに合わせて、フィルタをカットしてください。
   図の様にフィルタ１枚あたり４枚取れます。
2. フィルタホルダを開いて、フィルタを挟んでください。



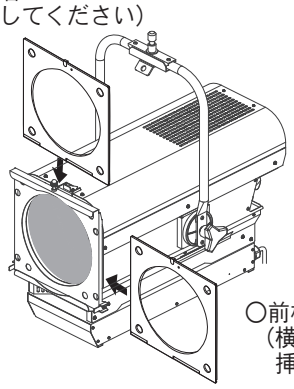
フィルタ装着状態



◆ フィルタホルダの装着　器具にはダブルシート枠を準備しています。

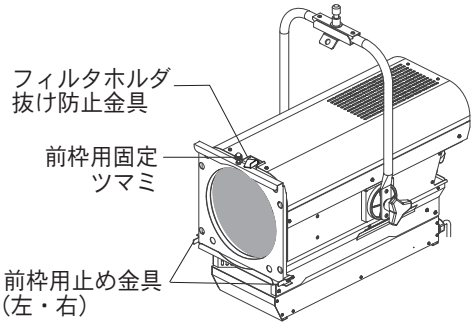
1. ダブルシート枠へのフィルタホルダの装着

○後枠への装着
（上から挿入してください）



○前枠への装着
（横(左右)から
挿入してください）

2. 落下防止を行う
フィルタホルダを後枠に装着した場合は、抜け防止金具で、
前枠に装着した場合は、左右の前枠用止め金具で落下防止を行ってください。
加えて、前枠に装着した場合は、前枠用固定ツマミでフィルタホルダを
固定してください。



取説No. NNQ30141-T3

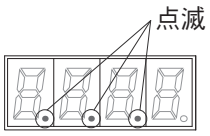
ファンの状態変化による安全制御

◆調光の制限

ファンが故障で停止した時や、経年劣化でファンの回転数が落ちた際の温度上昇によるスポットライトの故障防止の為、ファンの回転数が規定以下になった場合、設定されている調光に対して一律70%に低減させる制御をします。
（ただし、明るさの急変を避ける為、約1分間かけて緩やかに変化させます） 予めご了承ください。

◆警告の表示

上記の制御となった場合、7セグLED表示のドット３個が、点滅します。



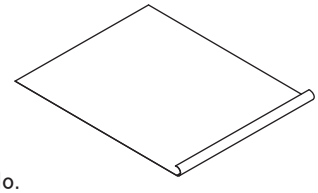
※調光の制限と警告の表示は、ファンの交換などにより、回転数が規定以上に戻るまで続きます。
なおプラグによる電源OFF/ONした場合でも、ON後約18秒後には調光の制限及び警告の表示を開始します。
お早めにファンの交換などのご対応をよろしくお願い致します。

別売アクセサリ

○カラーフィルタ(ポリカラー)

品番 NK30007（5枚組）
NK30008（3枚組）
NQ3711
（10枚以上、色指定、
色指定の混在可能）

カタログにて、品番、フィルターNo.
を確認してご注文ください。

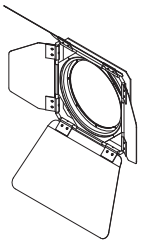


○紙フィルタホルダ8型用

品番 NQ35
（紙フィルタホルダ8型用）

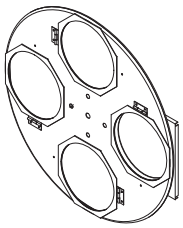
○バンドア８型

品番 NK33113K



○カラーホイル８型用

品番 NK30130



※バンドア、カラーホイルの器具への装着は
ダブルシート枠の前枠への装着となります。

保守・点検について

◆ 保守とお手入れ

●常に明るさを保って使って頂く為に、定期的に掃除をしてください。
●まれにレンズに微粒子やほこりが模様状に付着する場合がありますが、性能上はとくに影響はありません。
●汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布(眼鏡拭き等)で仕上げてください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤などでふかないでください。変色、破損の原因となります。
●レンズ清掃時に乾いた布で強くこすると、摩擦により静電気が発生し大気中の微粒子やほこりが
付着しやすくなる場合がありますので、ご注意ください。
●照明器具には寿命があります。計画的な点検、保守を行ってください。以下に、主な有寿命部品と、その交換時期の
目安を記載していますので、日常点検、及び定期点検を実施頂き適宜交換を行い安全にご使用ください。
※使用条件は、年間使用日数が150～250日、一日あたり使用時間が8時間です。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合・移動やシューティングの頻度が高い場合などは寿命が、短くなります。
・１年に１回は、「安全チェックシート」と次ページの「チェックリスト」に基づき自主点検してください。
３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。(チェックシート番号：CLX20212A)
●LED照明器具の光源寿命(※)は、20,000時間です。※光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、
全光束が点灯初期の80％に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。
●器具内部の部品の交換が必要な保守・修理は、工場での修理対応となります。

質量・外かく温度および定格

品番	NNQ30141	NNQ30142
色温度(単色モード時)	3000K	3000K
タイプ	1000形 フレネルFMレンズ	1000形 フレネルSHレンズ
質量	11.7kg	11.6kg
外かく温度	60℃	60℃
定格電圧	AC100V	AC100V
周波数	50/60Hz	50/60Hz
消費電力	125W	125W
入力電流	1.25A	1.25A

保守・点検について

◆ 交換部品（保守のため部品を交換される場合、下記の品番のものをお求めください）

消耗部品			
部品名	品名	品番	仕様
カラーフィルタ	ポリカラー	NQ3711(10枚以上)	ポリエステルフィルム(570×450)

有寿命部品（下記リストにない部品に関しては、別途お問い合わせください）			
部品名	部品品番	仕様	交換時期の目安
接地15A タフキャップ	WF5015B	接地15Aタフキャップ(15A 125V 黒)	10年
ファン	NNQ30141-39	DCファン	10年

チェックリスト

◆チェックリストによる安全点検と劣化診断

本商品は移動型器具であるため、一般の照明器具に比べて、
器具構成部品の劣化の進行が早いことが想定されます。
商品を安全に使用いただくために、定期的、日常的に、
部品毎の劣化具合を診断してください。
危険な状態にならない様に、専門のメンテナンス業者にて、
前倒しでの部品交換による保全、メンテナンスをお勧めします。

⚠注意	補修部品を交換する際は、手袋などの保護具を使用する。けがなどのおそれがあります。

調査項目	点検項目	処置			メーカー修理依頼
		清掃	増締め	交換	
灯体	フィルタホルダ枠、固定金具に異常な変形、損傷がないか。				○
	塗装の極度の変色、剥がれ、錆がないか。				○
	ネジなどのゆるみ、リベットカシメ部に浮きなどがないか。		○		
	灯具内に塵埃や紙吹雪等が無いか。				○
アーム	アーム、ダボに異常な変形・損傷がないか。				○
	アームツマミを締めてガタツキがないか。			○	
フィルタホルダ	異常な変形、損傷がないか。			○	
レンズ	黄ばみ、焼付き、白濁、ひび割れがないか。			○	
	レンズの汚れはないか。	○			
内部配線	変色、変形、硬化、焦げ臭くないか。				○
電源ケーブル	電源ケーブルの張力止めが緩んでいないか。		○		
	変色、硬化している。ひび割れがないか。				○
落下防止ワイヤ	金具が変形していないか。				○
	素線切れがないか。				○
	フックの変形がないか。				○
接地15A タフキャップ	ヒビ割れ、カケが無いか。充電部露出がないか。				○
	端子ネジの緩みがないか。		○		
取手	グラツキ、破損はないか。		○		○
ツマミ類	割れ、カケはないか。				○
絶縁抵抗	器具は漏電していないか（絶縁抵抗5MΩ以上）				○
ファン	異常な音が発生していないか			○	

使用上のご注意

・LEDには光のバラツキがある為、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なります。

保証について

◆保証について
商品の保証期間は1年間です。但しLED電源は3年です。LEDなどの消耗部品は除きます。
詳細に関しては弊社カタログをご参照ください。

◆保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

◆補修用性能部品について
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打切り後、6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

パナソニック株式会社　ソリューション事業統括部　〒105−8301 東京都港区東新橋1丁目5番1号
お問い合わせ先　パナソニック　照明器具・ランプ商品ご相談窓口　https://sumai.panasonic.jp/support/
0120-187-441(フリーダイヤル)【受付時間】月〜土/9:00〜18:00（祝日・三が日を除く）　※携帯電話からもご利用になれます。
0120-872-460(FAX)　Help desk for foreign residents in Japan Tokyo(03)3256-5444 Osaka(06)6645-8787 Open: 9:00-17:30(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

T0223−030923